

# 授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- |                                     |                                       |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 問題意識を持たせる     | <input type="radio"/> 自分との関わりで考えさせる   |
| <input type="radio"/> 多面的・多角的に考えさせる | <input type="radio"/> 自己の生き方について考えさせる |

## 小学校6年生 A-(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任 「修学旅行の夜」のポイント

<ねらい> 自由と自分勝手の違いを考えて責任のある行動をしようとする道徳的判断力を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に・・・

### ①<問題意識を持たせる> ②<自分との関わりで考えさせる>

- 日常生活に関連付け、自分の生活を振り返らせることで、自分との関わりで考えさせ、本時の課題に対して問題意識を持たせる。  
(発問)  「自由」とはどういうことですか。  
 「自由」だけではだめだと思ったことはありますか。

### ③<自分との関わりで考えさせる>

- この部屋に自分がいたらどうするかを考えさせることで、自分勝手な行動をしまいそうになる人間の弱さを、自分との関わりで考えさせる。  
(中心的な発問)  自分がこの部屋にいたらどうしますか。それはなぜですか。

### ④<多面的・多角的に考えさせる>

- 友達の考えを聞いたり、友達のネームカードの位置を見たりすることで、様々な考え方、感じ方があることに気付かせる。

### ⑤<自分との関わりで考えさせる>

- 自分勝手に行動してしまったことを振り返り、そのときどうすれば良かったのかを考えさせる。  
(発問)  自分勝手に行動して失敗してしまったことはありますか。

### ⑥<自己の生き方について考えさせる>

### ⑦<自分との関わりで考えさせる>

- 自由に行動するために大切なことについて書かせることで、自己の生き方について考えを深めさせる。  
(発問)  今後、どのようなことを大切にして行動していきたいですか。

展開

終末